市長記者会見記録

日時：2024年9月17日（火）14時00分～14時13分

場所：本庁舎2階 記者会見室1・2

話題提供：能登半島地震で発生した災害廃棄物の処理を開始します【環境局】

<内容>

【話題提供】

《能登半島地震で発生した災害廃棄物の処理を開始します》

【司会】 ただいまより定例市長記者会見を始めます。本日、話題提供といたしまして、「能登半島地震で発生した災害廃棄物の処理を開始します」となっております。

それではまず、福田市長から本話題提供について御説明いたします。市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 よろしくお願ひいたします。能登半島地震で発生した災害廃棄物の処理の開始について御説明をいたします。

令和6年1月1日に石川県能登地方でマグニチュード7.6の地震が発生し、被災地では損壊家屋などの解体・撤去に伴う災害廃棄物が大量に発生しており、生活環境の保全、公衆衛生の確保を図る観点から、これらを適正かつ円滑・迅速に処理を進めていくことが求められております。

災害廃棄物としては、2月29日に石川県が策定されました令和6年能登半島地震に係る石川県災害廃棄物処理実行計画において、約240万トンの発生量が示されておりましたけれども、石川県、環境省が8月に公表している公費解体加速化プランでは、約330万トンに大幅に増加する見直しがされております。被災された自治体においては、現在、県内で処理を鋭意進めておられるところでもありますけれども、特に珠洲市、輪島市においては、そのうち約半分の災害廃棄物が発生する見込みとなっており、県外での広域処理も含めた処理先の確保が必要な状況となっております。

こうした中、8月16日に環境省から、8月19日には石川県から、災害廃棄物の処理について本市宛てに協力依頼があり、東京都、横浜市と連携して支援を行うことを同月23日に報道発表したところでございます。

本市ではこれまでも、熊本地震などで発生した災害廃棄物の対応として、鉄道輸送用コンテナを貸与し、被災地の要請に応じて本市まで輸送し処理を行っており、これまでの経験、知見を生かし、被災地の早期復興のために協力していきたいと考えております。本市では、所有している鉄道輸送コンテナの貸与、都内の貨物駅に輸送された災害廃棄物を浮島処理センターで焼却処理し、埋立処分地で最終処分を行うもので、9月末頃からの処理に向けて調整を進めている状況です。

処理量につきましては、受入れ開始時は1日4.4万トンから8.8万トン程度を想定しており、被災地の処理状況によって増減するものと考えておりますが、今後、被災地の解体が

加速していくことが見込まれますので、本市の貸与するコンテナを増やすことや、処理可能量を一月当たり250トン以上確保していきたいと考えております。

これまでの震災の教訓から、一刻も早い復旧、復興のためには、速やかな災害廃棄物の処理は大変重要な役割と認識しており、東京都、横浜市と連携して、常に被災地に寄り添いながら、被災地ニーズをしっかりと把握して支援に取り組んでまいります。

私からは以上です。

【司会】 それでは、ただいま御説明しました件と市政一般に関する質疑を併せてお受けいたします。進行につきましては、幹事社様、よろしくお願いいたします。

【t v k（幹事社）】 テレビ神奈川です。よろしくお願いいたします。

改めてなんですけれども、石川県のほうから要請があって、受けて、処理を行うということなんです、市としてはどういう姿勢でこの処理に臨みたいと思われませんか。

【市長】 これまでも災害廃棄物の処理というのは、先ほど申し上げたように、復興には欠かせない大事な事業だと思っています。いつでも私たちという思いはありましたけれども、混乱させてはいけないので、どうなっているのということはありませんけれども、今回国のほうで、あるいは石川県のほうからまとまったということなので、これまでも中部地域のほうで処理を進めていると聞いていますけれども、先ほど申し上げたように、想定以上に廃棄物の量が増えているということでもありますので、私たちにできること、これまでも廃棄物のコンテナ輸送というのは、私たち、慣れている部分もありますので、そういった意味で貢献できればと思っています。

【t v k（幹事社）】 ありがとうございます。熊本でもとおっしゃっていたんですけれども、市がこれまでにやってきたのは熊本地震以外にもありますか。

【市長】 熊本のほかにありますか。事務方からでもよろしいでしょうか。

【環境局】 環境局処理計画課です。

熊本以外にも、過去遡りますと、阪神・淡路大震災、それから新潟中越沖地震、それから、最近でありますと台風15号の南房総市の支援を行っております。

以上になります。

【t v k（幹事社）】 ありがとうございます。幹事社からは以上です。

【市長】 ありがとうございます。

【市政一般】

《給食費について》

【神奈川（幹事社）】 神奈川新聞です。

先ほどの議会のほうで、給食費の、市としてはやはり物価高騰に伴って、50円ないし60円近く上げるというような一定の方向が示されましたけれども、改めてですけれども、今月中にもアンケートをするなんていう話もありましたけれども、改めて市長としてのそこら辺の、何度も聞いていますけれども、御見解と、アンケート、値上げしてほしくないというのが、多分親としてはそういう意見になってしまうとは思いますが、改めて、

どういうふう理解を示して、理解を示すというか。

【市長】 そうですね、皆様、普通の生活をしていけば、いかに食材費が上がっているかというのを日々の生活の中で感じておられると思いますけれども、それは児童生徒にとっても同じことで、給食においても全く同じことで、食材、上がっておりますので、それに伴って、これまで食材の工夫などをしてまいりましたけれども、それによって私たちが目指している健康給食の質というのが担保できないのであれば、それはもう元も子もなくなってしまいますので、しっかりと質を担保した上で、これまでどおり、しっかりと安全安心な、健康な給食を提供していくためには、物価高に応じた食材費というのを御理解いただかなくちゃいけないなと思っています。

一方で、給食費全体で公費がどのように使われていて、自分たちの負担はどういうことになっているのかということ、御存じの方もいらっしゃると思いますが、全く御存じない方もいらっしゃるということなので、これまでも丁寧に議会のほうに説明してきましたし、そして保護者の皆さんにもアンケートというものを通じて、今現状どうということなんだよという基本的なことをお伝えしながら御意見を賜りたいと思っています。

基本的には、負担につながることで、それはどなたでも嫌なことです。今回の補正予算で出しておりますとおりに、今回は、とはいっても、そんな急には上げられないので、上げられないというか、物価高騰で保護者負担という形はなりませんから、一般財源からという形になっておりますけれども、そのことも含めて皆様に知っていただきたいし、今後の給食のため、どういう形であるべきなのかということ、保護者の皆さん、そしてひいては子供たち自身がしっかり理解してほしいと思っています。

【神奈川（幹事社）】 この話を聞くのはあれなんですけど、市長への手紙とかでも果物を増やしてほしいとか、そんな直接要望的なものはあつたりするんですか。

【市長】 それほど、給食に対する市長への手紙というのは、あまり多くは来ていないと思っています。

ただ、私も自分の子供が中学校に通っておりますので、今どういう食材になっているかというのを保護者の一人として自分自身でも把握しております。そういった意味では、特定の食材に偏ってしまっていたりとか、フルーツがなくなっていたりということは認識しておりますので、そういったところは、本当に栄養士の皆さんも一生懸命頑張っていたいただいているとは思っていますが、それももはやなかなか限界だと思っています。

【神奈川（幹事社）】 ありがとうございます。

【東京】 東京新聞です。

関連で、この間の代表質問では、自民党からも全国での給食無償化の動きに言及があったと思うんですけれども、改めまして、全国の中で無償化する自治体が増えている中で、川崎市では値上げも含めて検討しなくてはならないということについて、どのように受け止めていらっしゃるか、伺えますでしょうか。

【市長】 給食費をどういうふう負担するのか、要するに給食費の値上げみたいな話と無

償化というのは全くの別次元の話だと思います。それが1つの話になってしまう、それは給食をベースに話すと、そのような議論になってしまうのは致し方ないと思いますけれども、これは全く別議論の話だと受け止めています。

これまで何度も申し上げているとおり、子供に関わる話というのは、こういったものは全国一律で、制度としてミニマムをどこに設定するのかということを考えるべきだと思います。そういった意味で、今行われているそれぞれの政党での話、総裁選あるいは党首選の中でも、そんな言及もあるのかなと見ています。

《兵庫県知事に関する報道を受けた所感について》

【東京】 すみません、ちょっと話が変わりまして、兵庫県知事をめぐる報道がいろいろとされていますけれども、県知事と政令市の首長と、立場は違いますけれども、首長という立場で、報道ベースでになるかとは思いますが、どのように受け止めていらっしゃいますでしょうか。

【市長】 どこまで報道されていることが事実なのかが分からない中で、何かを断罪するようなことはしたくはありませんけれども、ただ、これだけ多くのパワハラ事案みたいなのが出てくるというのは、ちょっと異常なのかなとは思っています。

私も含めて、首長というのは非常に権限の強い者でありますから、物の言い方含め、しっかりと、こういうことを受けて、私も大丈夫かということをしっかり正していかななくてはならないなと思っております。

【東京】 ありがとうございます。

【市長】 よろしいですか。

【司会】 質問、ほかにございますでしょうか。以上でよろしいでしょうか。

よろしければ、以上をもちまして市長記者会見を終了いたします。ありがとうございます。

【市長】 ありがとうございます。

(以上)

・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当